小中一貫校

《議会提案・２８年度予算（研究費）計上へ》
小中一貫校、中心部での開設に向け、一歩前進！

改正学校教育法の成立に伴い、２８年４月より小中一貫教育が可能となります。この法施行に伴う岐阜市の方針を質した２７年１２月議会の市長並びに教育長答弁により、**小中一貫校（正式には義務教育学校）の構想が大きく前進**しました。まずは**来年度予算で研究費が上程**されます。あわせて、都心居住の各施策を推進する市長部局との整合性を保ちつつ、徹明・木之本の両小学校統合後の徹明小学校校舎の短期的ならびに中長期的な活用方法の一策として、短期的にはキャリアセンターを、中長期的には小中一貫校の設置を検討したいとの答弁が報じられました。**岐阜市が掲げる「子育て教育立市」の具体策**として、ここ数年、あちこち下準備を進めてきた構想が一歩前進、今後も岐阜市政の発展に向け、調整に徹したいと思います。

大学連携

《科学館リニューアル》
早稲田大との連携を提案

早稲田ワボットハウス研究所の後継機関**「早稲田大学中部地域産業振興研究所」と岐阜市との連携**により、メディアコスモスでロボットを動かすワークショップが開かれました。こうしたご縁を繋ぐため、２８年５月に予定される岐阜市科学館リニューアル「スーパー理科室の設置」等に併せ、講師招聘など、**大学が持つノウハウを岐阜市の産業振興や教育に活かす**ことを提案しています。

未来の声に応えるために！

和田直也 検索

〒500-8879 岐阜市徹明通 6-1-1
E-mail: office@wada-naoya.jp

Facebook, Twitter, LINE, YouTube, Ameblo, Google+

新市庁舎

《基本設計案パブリックコメント実施中》
９階建（低層）→１８階建（高層）大幅変更？

先日、新庁舎の市民説明会を傍聴しました。メディアコスモス周辺の民有地買収に伴い、建設敷地面積が当初より広がる前提での設計案でありながら、**９階建の低層庁舎案から１８階建の高層庁舎案へ変更された理由を尋ねる方が多く**いらっしゃいました。ユニバーサルデザインや防災機能、財源など、いわば当たり前の論点を盛り込んだ設計案となりますと、あとは、やはり**建物の形状と景観調和、建設コスト・維持管理経費の比較が大きな争点**になるのではと思っています。市は現在公開した基本設計案に対するパブリックコメントを実施しています。今度の庁舎は建設されますと恐らく次の６０～７０年は岐阜市の中心部にそびえ立ち続ける、建設整備で２００億円近い岐阜市の大事業です。３５歳の私の人生でも最初で最後の機会になると思います。そういう意味でも、**子どもたちや孫たちから「残したい」と思ってもらえるような、そんな庁舎にしたい**と思います。ぜひ、多くの皆さんに関心を持って頂いて、意見を述べてほしいと切に願います。

- 新庁舎建設については、要請があれば「岐阜市行政部新庁舎建設課」が直接皆様のもとへご説明に伺うことになっています。（E-MAIL：shinchosha@city.gifu.gifu.jp）
- パブリックコメントの詳細はこちら　→　（http://www.city.gifu.lg.jp/25483.htm ）